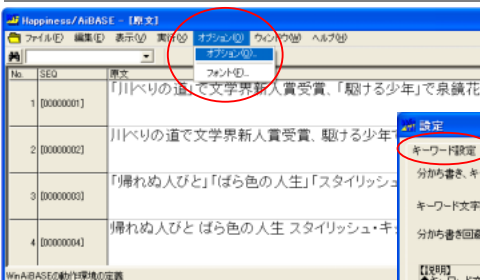


分かち書き回避記号により、分かち書きを抑制する

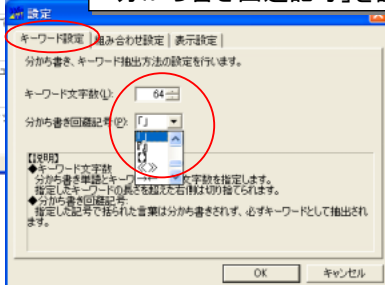
Step1.

分かち書き画面 (Happiness/AiBASE) で、「オプション」を選択します。



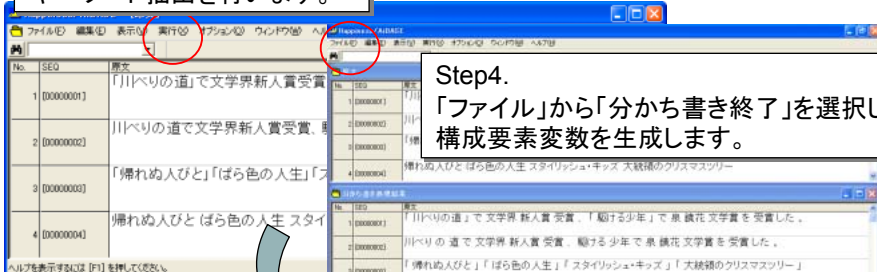
Step2.

「キーワード設定」(タブ)を表示し、「分かち書き回避記号」を設定します。



Step3.

「実行」を選択し、分かち書き・キーワード抽出を行います。



Step4.

「ファイル」から「分かち書き終了」を選択し、構成要素変数を生成します。

[狙い]

分かち書き回避記号を設定し、分かち書きを抑制し、任意の文字列を構成要素とする。

[ポイント]

- (1)回避記号で括られた文字列中の空白(全角・半角)は削除され、空白を詰めた構成要素が生成される。例)「A B C D」→「ABCD」
- (2)キーワードによる構成要素変数生成の場合、同時に組み合わせ設定が指定されていると、組み合わせ設定の最小語基が優先される。
- (3)回避記号が対になっていない場合、エラーとなり、そのサンプル(回答)から構成要素は生成しない。以降のサンプル(回答)の処理は継続して行うことができる。